

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

鈴木 仁（山形県鶴岡市）

経営概況（2026年2月時点）

経営規模：水稲17.1ha、ソバ55a、露地野菜72a、
切り花25a

従業員数：4名

<対象品目>

水稲

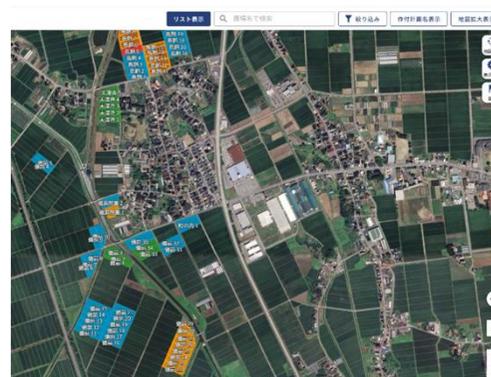
<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



栽培管理システム（KSAS）



地域の栽培指導役
「つや姫マスター」

～認定を受けて一言～

スマート農業技術に対応した機器を導入のうえ、作業の効率化・省力化を目指すとともに更なる高品質の農産物を生産していきたい。

また、地域内の農業者と栽培管理データを共有・活用し、つや姫マスターとして、地域における肥培管理等の生産技術の向上に貢献していきたい。